

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 30
R5. 6. 2
(文責:校長 菅家 篤)

「ほたるファミリー」の活動で育むもの

～ 体力テストに向けた縦割り練習から ～



反復横跳びのやり方を下級生に
優しく教える上級生

1年生から6年生と一緒に
ソフトボール投げの練習を
行っています。

下級生が見つめる中、上級生が
お手本となって、デモンスト
レーションします！

かつての日本の社会では、近隣の子ども同士交流や、家庭の中でのきょうだい同士の交流の中で、遊びを通して社会性や人間関係などを自然に身に付けていました。子ども同士の小さな社会の中で、大きい子どもは小さな子どもをいたわったり守ってあげたりし、それに対し小さな子どもは大きな子どもに感謝し憧れる、というような関係がゆっくりと育まれていたものです。しかし、最近子ども達は、自分と年令の近い年上また年下の子どもと付き合う機会が大きく減り、子どもたちの集団の中で、年上の子どもを見習う形で、社会性や人間関係を学ぶことができにくくなってきています。

学校には年齢の異なる子どもたちが集まっています。そこで、本校では1年生から6年生の児童を含んだグループ「ほたるファミリー」（縦割り班）をつくり、各班に分かれて様々な活動をしていく中で、学年間の横のつながりだけでなく、異学年間の縦のつながりを育む活動を行っています。

★縦割り班活動により、児童に次のような育ちが期待できます★

- ・縦割り活動を通して、協力することの大切さを理解し、互いに思いやることができる。
- ・上級生の思いやりのある行動や優しい声掛けを通して、下級生が他者との接し方を学ぶことができる。